



勝沼小だより

甲州市立勝沼小学校
学校通信 No.5
文責 三枝 ゆかり

2学期始業式、良いスタートができました！

8月25日（金）2学期が始まりました。前日、担任の先生方を中心に児童を迎える準備をし、学校全体が児童を待っていました。「おはようございます」と、荷物や課題を沢山持ち、児童が登校してくれました。夏休み中は静かな勝沼小でしたので、児童が登校することで活気を取り戻しました。始業式は、体育館に移動した児童が静かに待ち、整然とした中で始めることができました。「2学期は行事が多く、みんなが一番成長するときです。だから、何事にも一生懸命に取り組んでください。一人の力では行事は成功しません。みんなで協力しましょう。」と話しました。話を聴く姿勢やその後の児童代表あいさつから、夏休み中の成長と2学期へのやる気を感じました。非常に良いスタートができました。どの学年も「成長しました」と担任の先生方から聞き、大変嬉しく思っています。

2学期は一番長い学期、運動会だけでなく、150周年記念式典や持久走大会等、様々な行事が予定されています。年度の学校教育活動の充実期であります。安全に最大限留意しながら、一つ一つ丁寧に着実に楽しく教育活動を実施し、児童の力量を高めたいと思います。保護者の皆様のご理解・ご協力、引き続きよろしくお願い致します。



いい表情

勝沼小学校を引っ張る2学期のリーダーを紹介します！

9月5日に全校集会があり、2学期の学級での活動を引っ張ってくれる学級役員に任命書を渡しました。どの学年も立候補者が多く決めるのが大変だったと聞き、やる気を感じました。2学期はたくさんの行事があり、クラスみんなの力を合わせて取り組まなければならない場面が多いです。その2学期に、クラスをリードしていってくれる決意をしてくれた学級役員のリーダーシップに期待しています。



よろしくお願いします！



学年	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
委員長	三森 咲枝	邊見 海榿	廣瀬 湊	柳澤 奏汰	平井 愛結花
副委員長	古屋 伊織 廣瀬 玲美	海沼 寿明 北條 賢都	窪田 蒼太 丸山 結里奈	荻原 蓮 野澤 友梨乃	久保田 真叶 若尾 粹

児童用図書をいただきました！

今年も、元勝沼小学校校長相澤圭司様よりと多くの児童用図書のご寄付をいただきました。子供たちのために有効に活用させていただきます。保護者の皆様も、来校時にご覧いただければと思います。ありがとうございました。



PTA 奉仕作業&消毒作業

9月2日（土）7時からPTA奉仕作業を行いました。樹木の剪定作業・草取り・エアコン清掃・窓ふき等、運動会前に学校全体を綺麗にさせていただきました。また、これまで3回の消毒作業もありました。ご協力いただきありがとうございました。今年度ご協力いただいたのは、1年久保田雅史さん、2年樋貝一樹さん、3年小澤賢太さん、4年田中祐介さん、5年野澤利憲さん、6年若尾亮さんです。

消毒のおかげで、今日も子供たちは校庭で、元気いっぱい遊ぶことができます。

手縫いのぞうきんとお手玉をいただきました！

勝沼ナーシングセンターから、手縫いのぞうきんとお手玉をご寄付いただきました。通所者の方が子供たちのために丁寧に作ってくれたそうです。愛校作業や昔遊びの会の時に使わせていただきます。お手紙もいただき、ぜひ遊びに来てくださいと書かれていました。

ありがとう
ございます！



「子育て講演会」のお話です。冒頭、山梨大学の岩本教授が「そもそも子育てって大変なんです。心理的・物理的に負荷が高い営みであるということが前提です。」という言葉から始まりました。（私自身、この言葉に救われました）「子供との関わりは感情労働です。つまり、自分の感情を消費して、子供を理解し関わっています。誰でもできるのが当たり前と思われていますが、それは違います。子育ては自分がしてもらった経験をもとにしがちですが、視野を広げましょう。」とも言われました。

子育てに悩みはつきません。それは子供が何歳になっても同じです。講演会の中で、【子供への関わりの基本】は、①子供が必要とするときに要求に応じれば、それで十分！（ほどほど子育て。Good Enough）②難しい子への関わりは、「ダメ」よりも、「～しよう」「～して」で、できた瞬間に褒める。③子育てのゴールは子離れ＝子の自立と言われました。つつい心配で、可愛くて手を出してしまいがちですが、子供たちを「信じて待つ」ことが大切だと、改めて感じました。

子供たちに「社会情緒的スキル」（目標の達成・他者との協働・情緒のコントロール）を身に付けさせたいと考えています。ある目標を成し遂げていくための努力や我慢、特に、自分の欲求だけでなく、他者の考えや思いをくみとっての努力や我慢は、社会情緒的スキルを育むために大切な経験になると言われています。例えば、学校という多様な人たちが集う場において、他者（友達・先生・他学年等）の考えや思いを考慮し、「運動会を成功させよう」という目標に向かって努力や我慢する経験をすることにより、子供たちの社会情緒的スキルが育つということです。

9月の児童会目標は「協力し合い、助けあって行動しよう」です。一日一回は友達を助ける等、具体的な行動目標を決めました。私たち教職員も意識していきます。

